CITIZEN®

電波時計 （報時付掛時計） 取扱説明書

取扱説明書番号 M324-CXXX

～ 製品の特長 ～

- ●標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- ●毎正時にメロディを奏でランプが点滅します
- ●暗くなると報時が自動停止します

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「4MN486」をお伝えください。

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。 （Y0808）

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

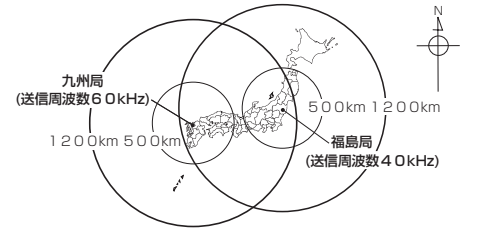
標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- ●金属製の雨戸やブラインドの近く
- ●ビルの地下など
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告　この表示は、「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意　この表示は、「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止　この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

強制　この表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告　小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止　分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意　本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止　下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- ●温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●温度が−10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- ●浴室など湿気が多いところ。
- ●ほこりが多く発生するところ。
- ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

電池のご注意 （電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●種類の異なる電池を混ぜない 。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かないところに置く 。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- ●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。㊟ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- ●一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意
- ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- ●電池を充電しない。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池をショートさせない。
- ●時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告　**電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。**

注意　**もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意　火に入れると破裂の原因となり危険です。

お手入れについて

- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- ●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

おもな製品仕様

使用温度範囲　−10 ～50℃
時間精度　表示精度
　標準電波受信直後
　　秒針　±1秒
　　時分針　目盛りに対して ±3度
　標準電波を受信しない場合
　　平均月差 ±20 秒（常温中のクオーツ精度）
報時精度　表示時刻に対して ±1秒
使用電池　単1形マンガン乾電池（JIS R20P）
　4 個
電池寿命　約1年
　標準電波の受信に成功し、報時を音量最大で1日17回行ったとき
報時機能　電子音メロディとランプの点滅
　メロディの種類　3群　計30曲
　音量調節
　報時モニター
　報時 ON/OFF スイッチ
明暗センサー　暗くなると
　　秒針が 12 時位置で停止
　　報時停止
　　受信表示ランプ消灯
電池交換時期お知らせ機能　秒針が常時12時位置に停止

標準電波
　受信局自動選択　福島局 40kHz/ 九州局 60kHz
　受信表示ランプによる
　　受信局表示
　　電波サーチ機能（電波の強弱表示）
　電波受信機能 ON/OFF 切替
自動受信　最少　1日1回　最多　1日6回
　受信状態により、受信回数は変化します。
　受信開始時刻
　　2時16分20秒　3時16分20秒
　　4時16分20秒　12時16分20秒
　　13時16分20秒　14時16分20秒

その他　一方向回転飾り、飾り振り子

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

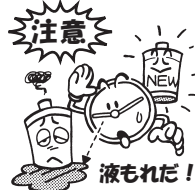
単1形マンガン乾電池	4 個	木ねじ	1個
取扱説明書	本書	保証書	1 枚

Ⓒ 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。明るいところで秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

◆ 電池の交換　早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

注意
- **●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。**
- **●時計が動いていても 1 年に1回定期的に交換する。**
- **●古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。**
- **●電池の⊕⊖を逆に入れない。**

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

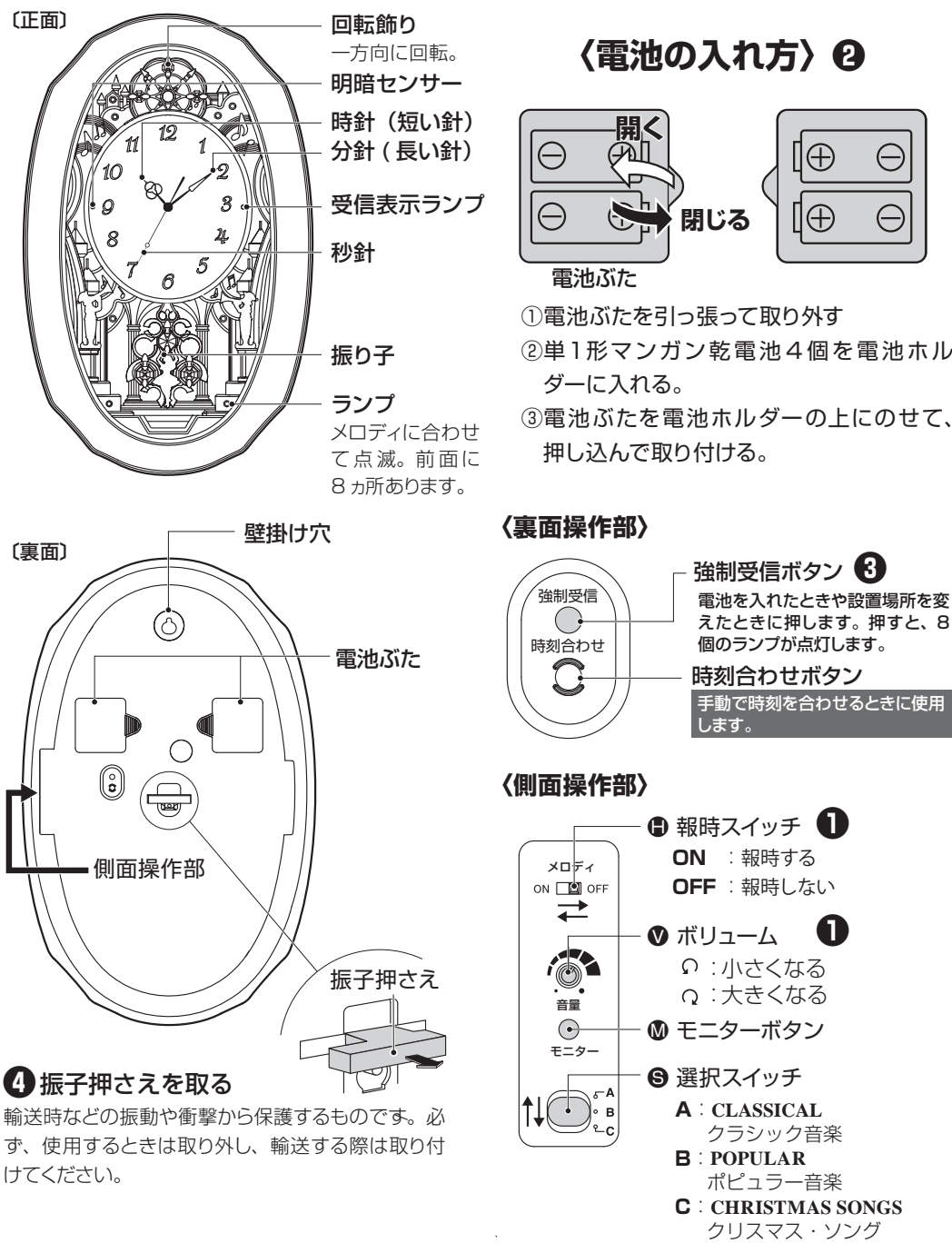
図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

〔正面〕

〈電池の入れ方〉❷

①電池ぶたを引っ張って取り外す
②単1形マンガン乾電池4個を電池ホルダーに入れる。
③電池ぶたを電池ホルダーの上にのせて、押し込んで取り付ける。

〔裏面〕

壁掛け穴
電池ぶた
側面操作部
振子押さえ

❹ 振子押さえを取る
輸送時などの振動や衝撃から保護するものです。必ず、使用するときは取り外し、輸送する際は取り付けてください。

〈裏面操作部〉

強制受信ボタン ❸
電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。押すと、8個のランプが点灯します。

時刻合わせボタン
手動で時刻を合わせるときに使用します。

〈側面操作部〉

Ⓗ 報時スイッチ ❶
ON ：報時する
OFF ：報時しない

Ⓥ ボリューム ❶
：小さくなる
：大きくなる

Ⓜ モニターボタン

Ⓢ 選択スイッチ
A：CLASSICAL
クラシック音楽
B：POPULAR
ポピュラー音楽
C：CHRISTMAS SONGS
クリスマス・ソング

針の動き……通常の時刻表示
時針・分針 ：10秒に1回動きます。
秒針 ：1秒ステップで動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、Ⓐ 標準電波を受信できない場合 の「手動時刻合わせ」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

❶ 報時スイッチをOFFにし、音量を最小にする
報時スイッチがONのときに電池を入れるとメロディが鳴り、ランプが点滅します。

❷ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形マンガン乾電池を入れる
〈電池の入れ方〉参照。
電池を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。

❸ 強制受信ボタンを押す 標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方 参照
受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。また、同時に針が移動を開始し、4：00、8：00、12：00のいずれかの時刻で停止します。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタン操作をしないでください。

❹ 振り子押さえを取る

❺ 時計を掛ける
時計の掛け方 に従い、時計を確実に掛けてください。

❻ 受信結果を確認する
受信表示ランプが2秒に1回点灯すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。
消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探すか、Ⓐ 標準電波を受信できない場合 を参照してください。

■ 報時の設定

報時は、毎正時にメロディを1曲奏でます。また、メロディとともに8個のランプが点滅します。お好みに合わせて報時機能を設定してください。

Ⓗ報時スイッチ
ON ：毎正時にメロディを1曲奏でランプが点滅します。
OFF ：報時しません。
※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。→ 明暗センサーのはたらき 参照

Ⓢ選択スイッチ
報時するメロディの種類を選択してください。
曲目は、時計裏面に表示してあります。

Ⓥボリューム
メロディの音量を調節できます。モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回し、調節してください。

Ⓜモニター （メロディの試聴）
モニターボタンを押すと、メロディを奏でランプが点滅します。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。
○選択スイッチで選択された種類のメロディを奏でます。
○つぎの正時には、モニターしたメロディのつぎのメロディを奏でます。
※時刻とメロディは固定されていません。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合
▶受信表示ランプの消灯　▶秒針を12時位置で停止　▶報時の停止
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。
十分に明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要なことを表しています。 裏面 Ⓒ 電池の交換時期お知らせ機能 参照。

標準電波－受信の流れとサーチ機能の使い方

② **強制受信ボタンを押す**

針は4：00、8：00、12：00のいずれかで停止します。

電波サーチ

③ **受信局を表示**
4回点滅 6回点滅 消灯したまま
3秒間点灯後、15〜120秒表示
福島局（40kHz） 九州局（60kHz） 受信できない
①からやり直す

④ 電波の状態を表示
点灯 消灯
良好 受信できない

⑤ 受信開始から最長15分後

正しい時刻を表示　不正確な時刻

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順
① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
② 強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、4:00、8:00、12：00のいずれかの時刻に停止します。
③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
④ 電波の状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない→場所を移動する
○点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いため、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
⑤ 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯
Ⓐ 標準電波を受信できない場合 へ

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24〜25時間以内の受信結果を表示します。

時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

強制
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

注意
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けてください

良い例

悪い例

振り子が止まったり、ゆれ方が乱れます。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

●**朝までそのままにしておく**
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える／受信をやり直す**
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●**時刻を合わせ使用する**
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることによりご使用になれます。

■ 手動時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞ Ⓑ電波受信機能のON/OFF操作 参照。
時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

秒針の動きについて
秒は、時刻合わせボタンを離したとき、"0秒" に設定されています。
秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他のところに停止しているときは、秒針が指している時刻になると動き出します。

Ⓑ 標準電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4 回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

ご注意
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても長い時間設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。
※工場出荷時の設定は、電波受信機能が ON になっています。